

# 環境保全型農業直接支払交付金の概要

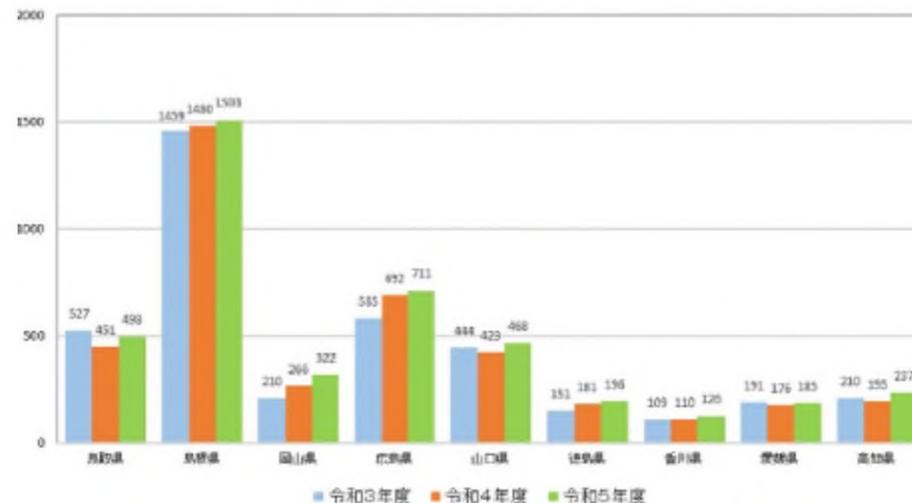
農業の持続的な発展と農業の有する多面的機能の発揮を図るために、農業生産に由来する環境負荷を軽減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動を支援します。

- 1 対象者：農業者の組織する団体、一定の条件を満たす農業者等
- 2 支援の対象となる農業者の要件
  - (1) 主作物について販売することを目的に生産を行っていること
  - (2) 持続可能な農業生産に係る取組を実施すること
  - (3) 環境保全型農業の取組を広げる活動（環境負荷低減に資する活動）に取り組むこと
- 3 支援対象活動

化学肥料、化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動  
○対象の営農活動

有機農業（「国際水準の有機農業」（有機JAS規格）の水準に合致していることが確認される取組）、堆肥の施用、緑肥の作付け、不耕起播種、長期中干し、秋耕、地域特認取組（地域の環境や農業の実態等を勘案した上で、都道府県が申請を行い、地域を限定して支援の対象とする取組）

(ha) 県別取組面積の推移



有機農業



堆肥の施用



緑肥の作付け



地域特認取組  
(例：冬期湛水管理)

# 中国四国地域における環境保全型農業直接支払の取組事例

## 農事組合法人 橋波アグリサンシャイン（島根県出雲市） ～中山間地農業の活性化を目指して～

### 1. 組織概要

#### (1) 環境直接支払取組概要

【取組内容】 5割低減と堆肥の施用、5割低減と緑肥作付、有機農業の取組

【取組面積】 2,358 a (R5年度)

【対象作物】 水稲、飼料用イネ、エゴマ、ほうれんそう、そば

#### (2) 構成員数 農事組合法人（組員19名）

#### (3) 環境直接支払取組開始年 平成27年度

#### (4) 化学肥料・農薬低減割合

【堆肥の施用】 化学肥料7割減、化学合成農薬6割減

【緑肥の作付】 化学肥料5割減、化学合成農薬6割減

【有機農業】 化学肥料10割減、化学合成農薬10割減



橋波地域の景観



棚田での田植えの風景



WCS収穫（飼料用イネ）



ドローンの活用

### 2. 取組概要

農事組合法人橋波アグリサンシャインは、水稲ほか、飼料用イネ、そば等を栽培しているが、経営の多角化を目指して、平成28年からビニールハウスと選果場を整備し、ほうれんそう栽培にも着手。法人が手がける約8割の農地で環境保全型農業直接支払交付金に取り組み、水稲の有機栽培を試みるなど環境保全型農業に意欲的に取り組んでいる。

また、出雲市佐田町内8つの集落組織で飼料用イネの栽培と収穫作業に取り組んでいる。飼料用イネは、町内畜産農家へ供給するとともに堆肥を仕入れ栽培に活用するなど、耕畜連携の環境保全型農業に取り組む。有機米栽培では出雲市内の保育園と直接契約を結び、近隣の水稲の有機栽培農業者とグループをつくり、年間を通じた出荷を行うとともに全国生協組織への出荷を進めている。

中山間地におけるスマート農業を推進するため、ドローンによる除草剤散布や病害虫薬剤の散布を行うほか、水稲直播播種もスタートしたところである。夏場の畦畔や法面の草刈りのハード的な作業を軽減するため、ラジコン草刈機とアーム式草刈り機を駆使して営農活動の省力化に繋げている。

## 中予有機農業研究会（愛媛県松前町、松山市、伊予市） ～地域連携による資源循環型農業に向けた取組～

### 1. 組織概要

#### (1) 環境直接支払取組概要

【取組内容】 有機農業の取組

【取組面積】 5,059 a (R5年度)

(松前町3,091a、松山市1,699a、伊予市269a)

【対象作物】 水稲、野菜、果樹

#### (2) 構成員数（うち取組農業者数） 会員2名（2名）

#### (3) 環境直接支払取組開始年 平成27年度

#### (4) 化学肥料・農薬低減割合

【有機農業】 化学肥料10割減、化学合成農薬10割減



紙マルチ田植え



剪定枝を活用した堆肥



小学生の農業体験

### 2. 取組概要

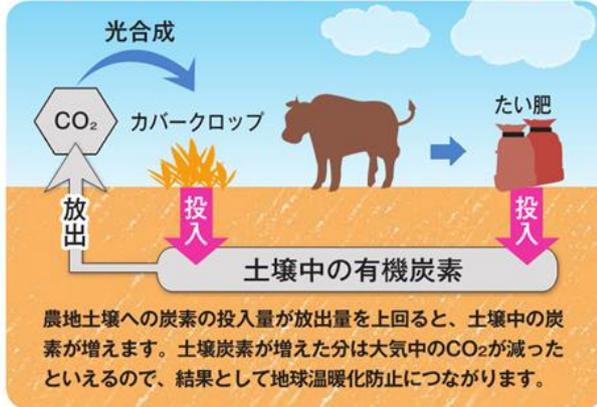
中予有機農業研究会は、主に水稲で有機農業を行っている「(有)あぐり」と野菜と果樹の有機農業を行っている「(有)てんぼ印」で構成される組織で、以前から各自で有機農業に取り組んでいたが、農業の多面的機能の発揮の促進を図るため平成27年に研究会を設立した。緑肥作物、有機微生物を活用した土づくりや紙マルチ、生分解性マルチで雑草抑制する等様々な技術を用いて有機農業を実践している。地域と連携し、食品廃棄物を活用した有機質肥料の製造、木質廃棄物（剪定枝）と豚糞から堆肥を製造するなど地域循環型の農業に取り組んでいる。

同研究会では、保育園児・幼稚園児を対象とした農業体験、小学生を対象とした環境学習や給食の食材説明、中学・高校生を対象とした農業の体験学習を行う等、資源循環型農業への理解促進活動を実施。また、大学と連携して、最新の技術の取得や知識の向上にも尽力している。

# 地球温暖化防止の取組と効果

堆肥を使ったり、カバークロープを栽培して土づくりを行うことや、有機農業を行うことは、一般的な農法と比べて農地の土壌に有機炭素がより多くたまり、地球温暖化防止に効果があります。

## 農地に炭素がたまるってどういうこと？



## 地球温暖化防止効果の調査結果

取組の名称	単位当たり温室効果ガス削減量※ (tCO <sub>2</sub> /ha/年)
有機農業	0.93
カバークロープ	1.77
堆肥の施用	2.26
リビングマルチ	1.02
不耕起播種	1.00

※有機農業やカバークロープ、堆肥の施用に取り組んだ場合と、一般的な管理（化学肥料の使用）を行った場合とで、温室効果ガス排出量を比較（引き算）した数値。

## 地球温暖化防止に効果のある取組



### ●カバークロープ

稲を収穫した後にレンゲなどそれ自体は収穫対象とはならない作物を栽培し、土壌にすき込むことで有機物を供給する取組。緑肥ともいいます。



### ●リビングマルチ

主作物の畝間にムギ類や牧草等の緑肥を作付けする取組。地面を被覆することで雑草の繁茂を抑制する効果もあります。



### ●たい肥の施用

牛ふん、わら、もみがら等の有機物を積み上げ、微生物の力で発酵させたもの。土壌にすき込むことで有機物を供給することができます。

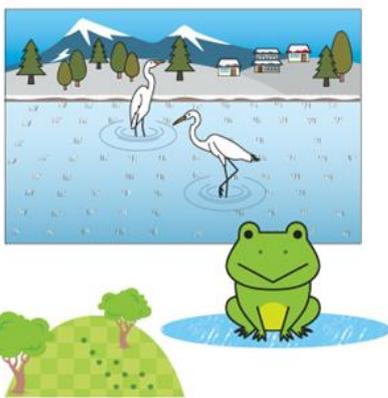


### ●不耕起播種

耕起による土壌の物理的攪乱を軽減し、土壌中の有機物の分解が抑制されることで土壌中の炭素貯留量が増加します。

# 生物多様性の保全の取組と効果

科学肥料や農薬を使用しない「有機農業」や、冬期に水田に水を張る「冬期湛水」等によってさまざまな生きものが育つ環境をつくります。



## 生物多様性保全効果に関する調査結果



取組を行った農地の83%で

**S・A**  
評価

※評価内容  
**S**：生物多様性が非常に高い。取組を継続するのが望ましい。  
**A**：生物多様性が高い。取組を継続するのが望ましい。  
**B**：生物多様性がやや低い。取組の改善が必要。  
**C**：生物多様性が低い。取組の改善が必要。

## 生物多様性保全に効果のある取組



### ●有機農業

化学肥料や農薬を使用しないことを基本として、環境への負担をできる限り低減した方法で行われる農業です。



### ●冬期湛水管理

冬の一定期間に、水田に水を張って鳥類その他の湿地性生物の生息環境を確保することにより、水田地帯の多様な生物を育みます。



### ●土着天敵の温存利用技術

ほ場内に定着した土着の天敵類を、次作の栽培初期から安定的に利用できるよう栽培終了後に育苗ハウスや遊休ハウスに移して温存する技術です。（写真は土着天敵タバコスカシカメ）

# 中山間地域の保全に向けた農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ

- 中山間地域等では、高齢化・人口減少の進行により、農業生産活動のみならず、地域資源（農地・水路等）の保全や生活環境（買い物・子育て等）など、集落維持に必要な取組を行う機能が弱体化。
- このため、地域コミュニティ機能の維持・強化に向けて、集落協定や農業法人など農業者を母体とした組織と、自治会、社会福祉協議会など多様な地域の関係者が連携して協議会を設立し、農用地保全や生活支援等を実施。

## 農村型地域運営組織（農村RMO）※1

### 協議機能 協議会（総会）

（小学校区程度のエリア）

集落協定  
集落営農  
農業法人  
など



自治会・町内会  
婦人会・PTA  
社会福祉協議会  
など

農村RMO形成は、上記のように連携するパターンの他、農に関する組織が生活支援の取組に着手するものや、生活支援の実施組織が農用地保全に着手するものがある

事務局

総務部

生活部

交流部

産業部

資源部

地域  
の  
将来  
ビジョン  
（地域住民の共通認識）

### 実行機能

### 事業の実施

資源管理

生産補完  
農業振興

生活扶助

#### 農用地の保全



地域ぐるみの農地の保全・活用

#### 地域資源の活用



直売所を核とした域内経済循環

#### 生活支援



集荷作業と併せた買い物支援

「農村空間を管理」し、農産物供給、景観、レクリエーション等「地域資源」を活用、さらに交流や居住等「生活」の空間として活用。

### ※1 農村型地域運営組織（農村RMO：Region Management Organization）

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織。

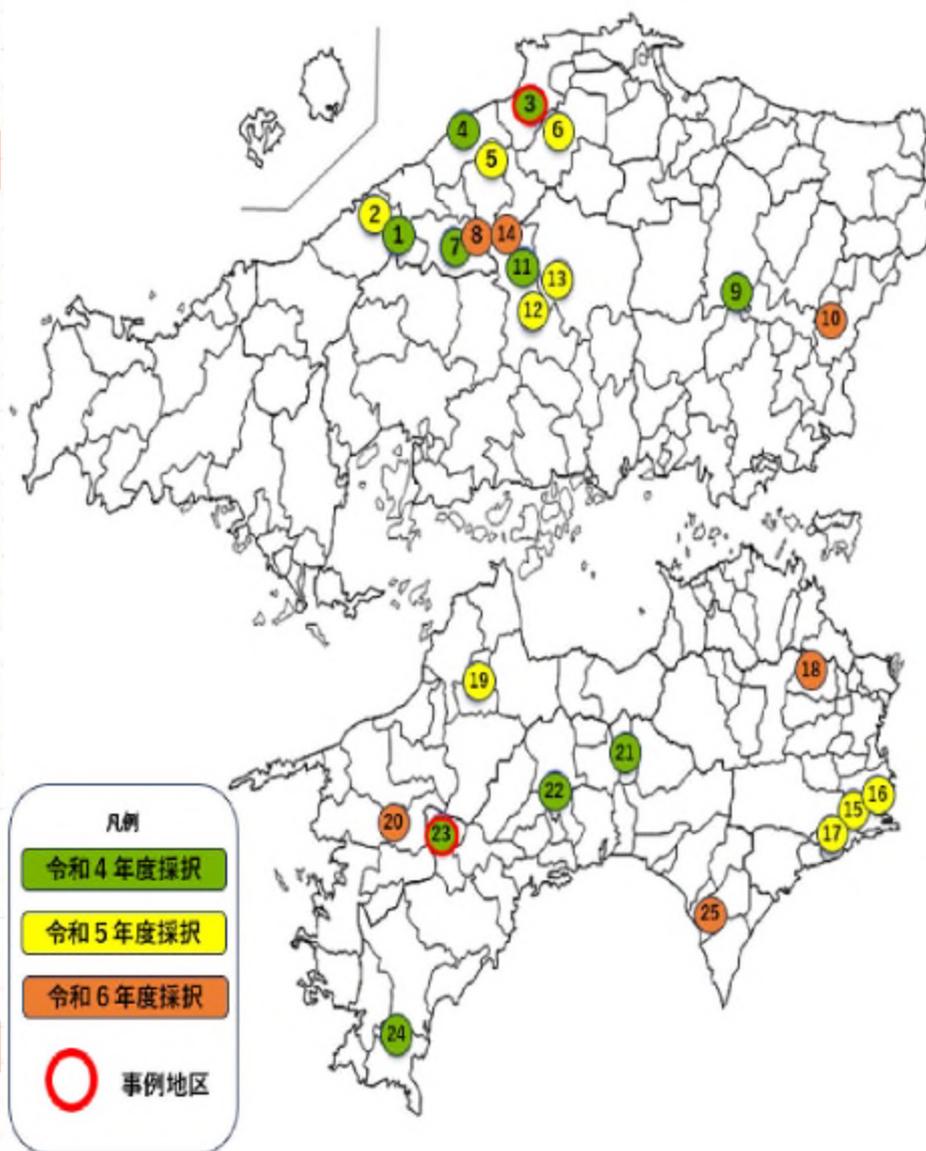
農村型地域運営組織（農村RMO）は、地域運営組織（RMO）※2の一形態と整理。

### ※2 地域運営組織（RMO）

地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織。【総務省HPより】

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	県名	市町村名	事業主体名
1	島根県	浜田市	和田地区まちづくり推進委員会
2		浜田市	今福まちづくり委員会
3		出雲市	佐田地域づくり協議会
4		大田市	久利・大屋地区小さな拠点推進協議会
5		大田市	池田集落協定運営委員会
6		雲南市	躍動と安らぎの里づくり鍋山
7		邑南町	出羽地域運営協議会
8		邑南町	口羽地区振興協議会
9	岡山県	真庭市	吉縁起村協議会
10		美作市	みまさか農村RMO推進協議会
11	広島県	三次市	石原集落地域振興協議会
12		三次市	田幸地区町内会連合会
13		庄原市	庄原市山内集落地域振興協議会
14		三次市	布野町まちづくり連合会
15	徳島県	阿南市	加茂谷RMO推進協議会
16		阿南市	椿町農村RMO運営組織協議会
17		美波町	赤松地区農村RMO推進協議会
18		阿波市	奥阿波RMO推進協議会
19	愛媛県	東温市	奥松瀬川地区農村活性化協議会
20		西予市	横林カスタマイズ
21	高知県	本山町	本山町農村みらいの会議
22		いの町	明るい柳野を創る会
23		梶原町	集落活動センター「四万川」推進委員会
24		三原村	(一社)三原村集落活動センターやまびこ
25		北川村	北川村地域活性化協議会



## 農村RMOモデル形成支援 梶原町四万川地区 集落活動センター「四万川」推進委員会 (高知県梶原町)



農地保全の取り組みを通じて新たな商品開発を行い、収益事業の拡大を目指す。地域で楽しく外貨を稼ぎ、地域住民が主体となって助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりを進める。

#共同作業の省力化実証、#キジの商品開発

## 対象地域

- (事務局名)  
株式会社四万川
- (地域の範囲)  
旧市町村(14集落)
- (土地面積 (R6.4月時点))  
4,553ha
- (農地面積 (R6.4月時点))  
29ha
- (世帯数 (R6.4月時点))  
234戸

## 構成員

- ・四万川区
- ・中山間直払集落協定
- ・多面的機能支払活動組織
- ・四万川お茶堂の会
- ・株式会社四万川

## 活動に関連する他の施策

- ・集落支援員
- ・高知県産業振興推進総合支援事業費補助金
- ・「デジ活」中山間地域
- ・中山間地域等直接支払交付金
- ・多面的機能支払交付金

## 取組内容

## 現状と課題

## 農用地保全

- 14集落で構成する明治合併前の旧村区域(四万川区)をエリアとした集落協定及び活動組織が農地の保全活動を実施。
- 高齢化により担い手が減少するなか、共同で行う農地保全活動の継続が課題。

## 地域資源活用

- 令和3年に解散し、事業継承した「きじ生産組合」の事業の生産力・販売力の向上が課題。

## 生活支援

- 高齢者の移動手段の確保や買い物支援などと併せて、見守りなど支え合い、助け合いによる仕組みづくりが必要。

## 課題に対する対応方針

- 中山間地域等直接支払等を活用した農地保全活動を継続する。
- アシストスーツを活用した共同作業の省力化の実証により、保全活動を継続する。

- 集落活動センターが事業継承し、飼育力・加工能力強化のため、飼育施設、加工施設を建築した(県単補助)。本交付金を活用し、新商品の開発を行い、販路拡大を目指す。

- 安心安全サポート(農産物の集出荷と併せた高齢者の見守りなど)の実施に向けた検討・試行を行う。

## 目指す方向性(将来ビジョンより)

- 地域の農地を守る。
- 猟友会の担い手育成などにより産地づくり、人づくりを行う。
- 中山間地域等直接支払を活用していない農地も含めて将来像を検討する。

- 農産物をお金に換える仕組み(集出荷体制)などにより地場産品の販売促進。
- 坂本龍馬脱藩の道ツアーなどにより交流活動を行う。
- 集落活動センターの対応を検討する。

- 高齢者の移動手段の確保などを実施し、高齢者の見守りもあわせて行う。
- 地域共生社会の拠点機能を持ち、地域住民の見守り活動などを実施する。
- 災害に強い集落づくり。

## 推しポイント

地域のための活動にみんなで楽しく取り組んでいます。新たな商品開発にも果敢にチャレンジしていきます。



いづもしさだ さだ いづもし  
 農村RMOモデル形成支援 出雲市佐田地区 佐田地域づくり協議会（島根県出雲市）



当事業での実証等により導き出された地域課題解消手法・体制をもとに、事業完了後の支援体制や農用地保全活動等に基づく財源確保の実現により、持続可能な地域運営組織を確立する。

#草刈り応援隊、#スマート農業、#薬木、#早生樹、#ビオトープ、#買い物支援、#新スマート物流、#農福連携、#生活支援お助け隊

### 対象地域

- (事務局名)  
NPO法人スサノオの風
- (地域の範囲)  
中学校区 (59集落)
- (土地面積 (R5.11月時点))  
10,890ha
- (農地面積 (R5.11月時点))  
641.27ha
- (世帯数 (R5.11月時点))  
1,116戸

### 構成員

- ・佐田自治協会
- ・NPO法人スサノオの風
- ・窪田ふるさと会
- ・(有)グリーンワーク
- ・(農)橋波アグリサンシャイン
- ・佐田地区集落営農連絡協議会
- ・くぼた錦森びとクラブ
- ・出雲市社会福祉協議会
- ・佐田地区社会福祉協議会
- ・出雲商工会佐田支部
- ・(有)すばる企画
- ・三島商会

### 活動に関連する他の施策

- ・地域おこし協力隊
- ・うみ・やま地域支援員 (市)
- ・「デジ活」中山間地域
- ・中山間地域等直接支払交付金
- ・多面的機能支払交付金

### 取組内容

#### 現状と課題

#### 農用地保全

- 集落営農組織の後継者不足、高齢者・転出者増に伴う耕作放棄地。
- 中山間地域等直接支払交付金の事務を担う人員の不足→協定解消の懸念。
- ほ場の狭険性・畦畔の広大さによる農業生産性の低さ(長時間労働)。

#### 地域資源活用

- 高齢化による、農産物直売所への出荷量・品数の減少。
- 農産地場産品・6次化産品の不在。
- 直売所からの情報発信力の弱さ。
- 棚田米を提供する食事処の、地域農業所得向上寄与への希薄性。

#### 生活支援

- 商店減少による買い物難民の増加。
- 高齢者・独居世帯増加による住宅・周辺管理苦慮案件の増加。

#### 課題に対する対応方針

- 集落協定事務局機能補完体制の検討・営農組織との連携。
- 「草刈り応援隊」の組織化。
- スマート農業による省力化。
- 耕作放棄地での薬用作物、早生樹の栽培実証・ビオトープ化、有機栽培教室の開催・農園づくり。

- 「食育・木育」の新商品を見据えた、地域の食文化・農林産物調査。
- 直売所高効率集出荷システム検討。
- 商工業等との連携による、中山間米の新販路検証(輸出含む)。

- 商業者ノウハウ活用・集落の集いの場の確保による、地元農産品移動販売の買い物支援システム構築。
- 新スマート物流業者との連携模索。
- 介護予防・生きがいくりに向けた農園づくり、外出支援と連携した農福連携取り組み強化。

#### 目指す方向性(将来ビジョンより)

- 未利用有機物を活用した有機農業の推進。
- 農業既存組織維持への支援。
- 農地保全活動の拡充。
- 農地の区別化。
- AI、ドローンの活用。

- 農商・農福連携の強化による産品開発。
- 食物・農村文化を基調としてスモールビジネスの展開。

- 地域助け合い活動の組織化。
- 住民自治組織の見直し。

#### 推しポイント

神話の英雄スサノオ安住の地で育つ農産物。その恵みと農村文化に生まれ、地域ビジョンを自らつくった住民パワーには、ヤマタノオロチも太刀打ちできない！





# 農林水産祭 むらづくり部門「天皇杯」受賞

農林水産業の振興・生活環境の改善・地域文化の継承等に地域ぐるみで取り組まれている多彩で活力あるむらづくりを表彰しています。



## ●部 門：むらづくり

●受賞者：氏名又は名称 **えーひだカンパニー株式会社** (代表 **川上 義則**)

所在地 **島根県安来市**

## ●出品財：むらづくり活動

地域消滅の危機感から全世帯の中学生以上に実施したアンケートやワークショップを基に策定した「比田地域ビジョン」を実現するための組織として、平成28年に任意組織を設立、平成29年には公的支援に頼らず社会的信用力、責任を有する持続可能な組織となるために株式会社化しました。

高齢化等で作付困難となった農地での稲作やドジョウ養殖、ドローンやリモコン除草機による作業受託、「比田米」のブランド化、日本酒・米ビールなど加工品開発、農産物直売所とカフェの運営などに取組んでいます。

また、高齢者対策では、地元の各組織とも連携したデマンド交通の運営、見守り活動を兼ねた移動販売車の運行、温泉施設での冬期一時居住の試行を行うほか、小学校との協働事業として小学生がサマーフェスタへの出店や商品開発、動画制作に取り組むなど、「生産機能」・「自治機能」を両輪として事業を展開しています。

# 農業・農村の有する多面的機能

農業・農村には、野菜などの生産の場としての役割だけではなく、私たちの生活に色々な『めぐみ』をもたらす働きがあります。このめぐみを「農業・農村の有する多面的機能」と呼んでいます。

農村の景観を保全する機能

有機物を分解する機能

癒しや安らぎをもたらす機能

暑さをやわらげる機能

土砂崩れを防ぐ機能

文化を伝承する機能

洪水を防ぐ機能

川の流れを安定させる機能

体験学習と教育の機能

土の流出を防ぐ機能

地下水をつくる機能

生きもののすみかになる機能



# 中国四国地域の農業遺産認定地域

○中国四国地域では、現在4地域が世界農業遺産、日本農業遺産の認定を受けています。



## 日本農業遺産 奥出雲地域（島根県）

「たたら製鉄に由来する奥出雲の資源循環型農業」



たたら製鉄の原料である砂鉄を採掘するため山々を切り崩し、**採掘に導いた水路やため池を再利用**し、その跡地に広大な棚田が築かれた。また、和牛の飼養管理で得た牛ふん堆肥を水田に施用した米づくりが代々受け継がれている。



## 世界農業遺産・日本農業遺産 にし阿波地域（徳島県）

「にし阿波の傾斜地農耕システム」



条件厳しい山間地で、段々畑のような水平面を形成せず、敷き草（カヤ）をすき込み土の流出を最小限に抑え、**傾斜地のまま農耕**し雑穀や伝統野菜、山菜、果樹が栽培されている。



## 日本農業遺産 南予地域（愛媛県）

「愛媛・南予の柑橘農業システム」



漁業で移り住んだ先人達がリアス海岸の厳しい立地に開拓した広大な段畑は、太陽と海の恵みを受けて、国内有数の柑橘生産地域へと成長。**生物多様性に富むランドスケープ、シースケープが継承**されている。



## 日本農業遺産 県南地域（徳島県）

「みなみ阿波の樵木林業システム」



択伐矮林更新法という樹種を問わず**特定の太さ以上の木のみを伐採する技術を継承する「樵木林業」**により、薪炭や菌床用原木等の生産を行いながら、照葉樹林の維持や生態系の保全、土砂災害の防止等に貢献している。



# 多面的機能支払は 地域の共同活動を支援します！

農業・農村は、食料の生産だけでなく、洪水や土砂崩れを防いだり、美しい景観や伝統文化を守るなど、私たちの生活に色々な「めぐみ（多面的機能）」をもたらしています。本制度は、こうした農業・農村の多面的機能が適切に発揮されるよう、地域の共同活動を支援しています。

## 農地維持支払

担い手に集中する地域資源（農地、水路、農道等）の保全管理を地域で支え、農地集積を後押しする活動を支援  
【支援対象(一例)】

農地、水路、農道等の保全管理、これからどうしていこうかな～みんなで考えよう！



農地、農道法面の草刈り



水路の泥上げ



活動期間中に作成  
**地域資源保全管理構想**

	円/10㍍ <sup>2</sup>
田	3,000
畑	2,000
草地	250

## 資源向上支払

地域資源の質的向上を図る共同活動又は施設の長寿命化のための活動を支援  
【支援対象(一例)】

○ 共同活動



施設の軽微な補修



植栽活動

○ 共同活動

	円/10㍍ <sup>2</sup>
田	2,400
畑	1,440
草地	240

※注

○ 長寿命化のための活動

	円/10㍍ <sup>2</sup>
田	4,400
畑	2,000
草地	400

※注

○ 長寿命化のための活動



農道の舗装

### 多面的機能支払交付金のロゴマーク

中央の多面体は農業・農村の有する多面的機能、それを囲む両手は地域の共同活動の手でそれを守っている様子表現しています。そして、多面体の各色は、農地・水的情景を表しています。

- 緑色：稲や野菜、牧草が育つ様子
- 茶色：田植え前の田んぼや種まき前の畑
- 水色：田畑をうるおす水
- 薄茶色：稲や麦の実り
- 桃色：みんなの協働の心



高めよう 地域協働の力！

【※注】本紙に掲載している交付単価は、基本となる交付単価です。組織の認定農用地面積や活動内容などにより、交付単価が異なる場合があります。本制度の詳細については、お近くの市町村担当窓口にご相談ください。

多面的機能支払の活動内容などの紹介についてはこちら！

## 多面的機能支払メールマガジン

# 農村ふるさと保全通信

多面的機能支払の先進活動組織やリーダーの紹介、制度情報など、活動組織等の皆様にとって有益となる情報を配信しています。

### 【配信申し込み】

配信を希望される方は、農林水産省が発行しているメールマガジンの新規配信登録の入力フォームからご登録ください。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/reg.html>

### 【農村ふるさと保全通信への投稿】

皆様の活動組織の紹介など、メールマガジンの原稿を随時、受付しています。

以下のアドレスにお送りください。

[tamen\\_ml@maff.go.jp](mailto:tamen_ml@maff.go.jp)

バックナンバーは  
QRコードからもご覧  
いただけます



ご登録を  
お願いします！



Facebookもチェック



農村振興局Facebookでは農業・農村振興施策や地域の取組などを写真や動画とともにお届けしています！

<https://www.facebook.com/nouson.maff/>



農林水産省  
農村振興局



いいね！  
してね！



## 「多面的機能支払交付金の ロゴマーク」♪

高めよう 地域協働の力！



◇ ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。どんどんご活用ください！！

[https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen\\_siharai-31.pdf](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf)

令和6年度 多面的機能発揮促進事業  
中国四国農政局長表彰 最優秀賞組織（鳥取県）

【多面的機能支払】

したまちみどり やずぐんやずちょう  
「下町水土里会」（八頭郡八頭町）

- (1) 認定農用地面積：36.9ha  
（田：36.7ha、畑：0.2ha）
- (2) 組織構成：  
1集落（農家24戸、非農家46戸）  
開水路：7.6km、農道：3.9km  
ため池 1箇所



【組織の概要】

本組織は、千代川支流の八東川とその支流の大江川の合流地点辺りの沖積地に当たる谷底平野に位置しており、水稻をはじめ、梨、こおげ花御所柿(GI登録)などの果樹が盛んに栽培されています。

農業生産基盤の経年劣化や、農業者の高齢化が進行してきたことから、地域農業の継続、自然環境を保全しながらの農村社会の持続性向上を図るため、平成19年度に、農業者や農業生産法人だけでなく集落や地域の多様な団体からの参画により本組織を立ち上げ、地域農業の着実な発展と併せ、地域で支え合う活動を通して集落の絆を深め、次世代に繋ぐべく人づくり・後継者の育成を進めながら地域力を高めています。

【主な取組内容】

○外部団体と連携した環境保全活動

地域外からの地域おこし協力隊員をアドバイザーとして、(一社)鳥取県地域教育推進局環境部 MIZUNOBA に所属する大学生の協力を得て、ため池の水落としによる特定外来生物の駆除や、生き物調査を実施しました。また、本組織の認定農用地は、環境省の自然共生サイト認定「鳥取県八頭船岡環境保全エリア」の一部が含まれており、環境保全型農業を実施するなど自然生態系を意識した活動で、ほ場にコウノトリが飛来するようになったことから、今後「コウノトリ米」として販売する予定で調整を進めています。

○多様な組織が連携して行う農村の持続力向上の取組

地域の女性部が中心となり、休耕田で枝豆を栽培し、収穫した枝豆を活用した高齢者施設の入居者との交流を図っています。また、施設の保管理及び長寿命化活動については、構成員の自警団が中心となり、排水路の嵩上げや法面の土砂崩落防止工事などを生産法人の機械等を借りながら、できるだけ直営施工による活動を実施しています。



ほ場に飛来したコウノトリ



地域協力隊・大学生の協力による  
ため池の環境保全活動



枝豆のもぎとり体験交流

# 活動事例 1

・景観形成活動（フジバカマの植栽）  
（山口県岩国市：二鹿愛郷会）



## 活動事例 2

・学校や他団体と連携した農作業体験  
(島根県大田市：宅野地域農地保全会)



# 活動事例 3

・長寿命化活動（農道の舗装工事）  
（香川県三豊市：麻環境保全会）



## 『つなぐ棚田遺産』～ふるさとの誇りを未来へ～（ポスト棚田百選）

日本の棚田の多くは、長い歴史を有し、国民への食料供給にとどまらず、国土の保全、良好な景観の形成、伝統文化の継承等に大きな役割を果たしてきました。

こうした多面的な機能を有する棚田について、その保全活動を推進すること等を目的として、農林水産省は、平成 11 年に、優れた棚田 134 地区を「日本の棚田百選」として認定しました。

認定から 20 年以上が経過している昨今、棚田地域では、担い手の減少や農家の高齢化等により従来のような保全活動が難しくなり、棚田の荒廃の危機に直面しています。

このような中、令和元年には、待望の棚田地域振興法が施行され、その趣旨に基づき、着実に、棚田地域の振興に向けた取組が広がっています。

そこで、農林水産省では、棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、国民の皆さまに、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対するより一層のご理解とご協力をいただくことを目的として、改めて優良な棚田を認定する取組（「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～（ポスト棚田百選）」）を実施しており、全国から推薦いただいた 271 の棚田が認定されました。

人と自然がつくりだすこの美しい棚田を未来へつないでいきましょう。

## つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター制度

「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」の取組を、企業、団体等多様な関係者とともに幅広く周知するとともに棚田地域の振興に資する取組を促進するため、つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター制度を創設しております。

オフィシャルサポーターの取組については、農林水産省ホームページで紹介させていただきます。

## オフィシャルサポーターのご紹介

「つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター」は現在（令和6月10月10日）、次の企業・団体等の皆様にご協力・ご参画いただいております。



## 棚田に恋・棚田カード

農林水産省では、都道府県の担当者呼びかけ、棚田地域を盛り上げ、棚田の保全に繋げる第一歩として、平成30年秋に「棚田カードプロジェクトチーム」を立ち上げました。

また、棚田カードプロジェクトチームでは、棚田をご存知の方はもちろん、棚田を知らない方、馴染みのない方にも棚田の魅力を「行って」「見て」「知って」もらいたい、そして棚田を含む地域活性化に役立ってほしいという想いで「棚田カード」を作成しました。

棚田を訪れ、カードをゲットしてみましょ。



※棚田カードの一例です。(詳しくは、冊子「棚田に恋」をご覧ください。)



大畑和西  
第1弾    
秘境度★★★★☆☆



四歩市  
第4弾  
秘境度★★★★☆☆

## 「つなぐ棚田遺産」感謝状



「つなぐ棚田遺産」感謝状とは、棚田地域における多様な主体との連携や協力を促進することを目的として、棚田地域の振興等に貢献する企業・大学等の取組を評価し、優れた取組を実施する企業等に感謝状を贈呈させていただく取組です。

「未来へつなぐ」部門、「人と人をつなぐ」部門、「クリエイティブ」部門の3つの部門に分けて、棚田からの感謝をお伝えします。

また、特に優れた取組を実施する5企業等に特別感謝状を贈らせていただきます。

## 島根県 若林酒造有限会社 (取組16年)

～夢のある米作り・酒造りで 伝えようヨズクハデのある棚田の風景～



酒米「亀の尾」



棚田まつり



稲刈り会



保存会との記念撮影

### ➤ きっかけ

平成18年、石見銀山遺跡の世界遺産登録を控え、西田地区において銀山街道とヨズクハデのある棚田の景観保全に向けた地域の機運が高まっていたこと。

### ➤ 取組内容

自主的に結集した会員同士が農業体験を通じて時間を共有し合い、地域の自然、歴史や文化に触れながら都市交流を深め、地域・人づくりへの活動を行っている。

### ➤ 推薦理由

西田地区との連携を契機とした会員数の増加は棚田地域の活性化とヨズクハデの保存に大きく貢献していること、また将来に渡る取組みの継続が期待されることから、県として推薦を行う。

《関係棚田情報》 西田ヨズクの里 (島根県大田市温泉津町湯里)

【指定棚田地域】

なし

【つなぐ棚田遺産】

西田ヨズクの里

【日本の棚田百選】

なし



稲刈り・はぜかけ体験



野菜の植え付け作業



草鞋ウォーク



予行演習

## ➤ きっかけ

以前から学生ボランティアとして参画している周南市大田原自然の家の事業「棚田ふれあいキャンプ」で、中須の棚田地域での子ども達のキャンプ事業を手伝ったこと。

## ➤ 取組内容

学生たち自ら研修活動の一環として棚田地域に入り、手作業での田植えや稲刈り、はぜ干しなどの農作業体験や棚田でのキャンプを通じて、地域住民・大学生間での親睦を深めたり、関係作りを積極的に行っている。

## ➤ 推薦理由

大学卒業後も県外から当地区に来訪するなど関係人口の創出に寄与している。棚田環境の保全のみならず地域の活性化への取り組みを活発に行っており、他の模範となると判断されることから推薦する。

《関係棚田情報》 中須の棚田（山口県周南市大字中須北）

【指定棚田地域】

なし

【つなぐ棚田遺産】

中須の棚田

【日本の棚田百選】

なし

# 香川県 公益財団法人 福武財団 (取組14年)

～棚田が広がる風景の中で、自然とアート、建築が調和した環境をつくる～



耕作放棄地を伐開



田植えイベント



草刈及び草の集積作業



収穫祭

## ➤ きっかけ

2009年4月、瀬戸内国際芸術祭の開催を契機に豊島「食プロジェクト」推進協議会が発足されたことがきっかけ。

## ➤ 取組内容

①棚田の再生 ②復活した棚田での農作物の栽培と景観の維持管理 ③棚田イベントの実施

## ➤ 推薦理由

取組年数が長く地元保全団体や町と一緒にあって地域の棚田や里山を再生・保全するための熱心な取り組みを行っており、棚田保全に対する熱意ある姿勢や功績が、県内でも極めて顕著であるため。

《関係棚田情報》 唐櫃の棚田 (小豆郡土庄町大字豊島唐櫃小字寒田)  
【指定棚田地域】 旧豊島村      【つなぐ棚田遺産】 唐櫃の棚田      【日本の棚田百選】 なし

# 高知県

# 一般財団法人本山町農業公社 (取組29年)

～人から人へ未来につなげる本山町～



ブランド米の生産



田んぼアート



品質管理



FOODEX JAPAN

## ➤ きっかけ

平成6年に農林業を中心とした地域づくりを目指して「本山町農業公社」を立ち上げたことがきっかけ。

## ➤ 取組内容

農林業を中心とした地域づくりを進めるため、本山町の有する豊かな地域資源を活用した特産物の開発及び販売促進事業、農林作業の受委託事業、農地の有効利用と幅広い地域振興施策を実施。

## ➤ 推薦理由

土佐天空の郷米のブランド化や、加工品の開発、販路開拓、スマート農業の推進など地域への貢献度が非常に高く、農業者の所得向上にも繋がっている。将来展望できる農業の基盤を創り上げているため。

《関係棚田情報》 本山町の棚田、吉野村の棚田  
(大石、吉延、高角、古田、木能津、上関、下関、北山)、汗見川)  
【指定棚田地域】 【つなぐ棚田遺産】 【日本の棚田百選】  
上記2棚田 土佐・本山 天空の棚田群 なし

# 徳島県 学校法人四国大学 (取組13年)

## ～棚田地域とよりそう人材育成～



古民家の修繕活動



草刈り、水路の補修



畦の修繕作業



ワークショップで地域活性化

### ➤ きっかけ

徳島県が「社会貢献に積極的な“企業・大学等（協働パートナー）”」と「応援を求める“農山漁村”」の間を取り持ち、農作業や地域の活性化活動の協働を推進したことがきっかけ。

### ➤ 取組内容

①棚田地域の住民が実施する鳥獣被害防止ネット張り、草刈り、棚田の修繕等保全活動へのボランティア参加 ②棚田地域の活性化に向けたワークショップへの参加・地域への地域活性化アイデアの提案

### ➤ 推薦理由

県内の複数の棚田で長年、幅広く保全活動等を行っており、棚田地域の維持・保全・振興等に貢献し、顕著な功績があると認められるため。

《関係棚田情報》 榎原の棚田（徳島県勝浦郡上勝町大字生実字白鶴）

【指定棚田地域】

旧福原村地域の棚田

【つなぐ棚田遺産】

榎原の棚田

【日本の棚田百選】

榎原の棚田